



大盛況だったこんにやく鍋

第22回

昭和の秋まつり

会場レポート

2万1千人が来場
秋の实り満喫

村の秋の实りを祝う昭和の秋まつりが10月6日、村総合福祉センター駐車場などで開催され、村内外はもとより県内外から延べ2万1千人が来場し、終日にぎわいました。

今回も、昭和村ふるさと大使で、お笑い芸人のなべやかん氏、バルーンアートを楽しませてくれるタレントのけいすけ氏、水晶玉のジャグリングで魅せる近藤六氏が登場、まつりを盛り上げてくれました。

また、まつりの名物となっている恒例の「こんにやく大鍋」は、今年も8千食分を用意。大鍋には長蛇の列ができて、大盛況となりました。

そして、村と友好交流協定を結ぶ横浜市からも交流コーナーが設けられ、同市にゆかりのある中華名店や牡蠣小屋、同市のブルーシアからヤギとのふれあいコーナーが設けられたほか、学校法人岩崎学園



多くの来場者が訪れた秋まつり会場



抽選会のトップ賞はテレビ
堤村長、なべやかん氏、けいすけ氏、近藤六氏とともに

昭和中生徒がボランティアに参加



様々な種類のゴミの分別をサポート



笑顔で取り組む昭和中生のみなさん

昭和中学校の生徒がボランティアとして秋まつりに参加、ゴミステーションでゴミの回収に協力してくれました。生徒たちは、来場者から持ち込まれた様々なゴミの分別をサポート、こんにやく鍋のどんぶりなどは水洗いを行い回収しました。



ちびっこ商店街など子どもたちも参加



ズーラシアのヤギとのふれあいコーナー



迫力満点の生越太鼓



美声を響かせたコーラス・アンダンテ

ドローン・ロボットプログラミング教室

横浜市の学校法人岩崎学園情報科学専門学校の学生を講師に招き、ドローン・ロボットプログラミング教室を開催。子どもたちは手ほどきを受け作成したプログラムをタブレットにインプット。プログラムどおりにドローンが飛び目的地に着陸すると歓声を上げていました。



先生の指導でプログラミング



飛び立ったドローンを見守る

によるドローン・ロボットプログラミング教室や「昭和の車・横浜の車」と題したクラシックカーの展示、ステージ上では大人気の投げ餅などが行われました。屋内運動場ではベイブレードバーストなども行われ、来場者は終日賑わった「昭和の秋まつり」を満喫していました。



開会を宣言する
加藤茂実行委員会会長

